

## 高等工科学校に入校した生徒の母からの手紙



4月1日の着校日、今まで手取り足取りで育ててきたわが子に後ろ髪を引かれながらも日程を終えて門を出るとき、置き去りにしたとき、少し早い親離れ(子離れ?)だと私自身覚悟を決め帰路につきました。4月8日、着校からわずか一週間しかたっていない入校式当日、制服を身に纏った息子の凛々しい姿を目の当たりにしたとき、中学校一年生で高等工科学校のことを知っていた彼の並々ならぬ努力が実ったことが実感できました。思い起こせばこの3年間、高等工科学校に入るため、ひたすら勉強し体力づくりに邁進してきた彼の姿が走馬灯のように目に浮かびます。これからは自分自身が描いた立派な自衛官になるよう先輩方に習い同級生たちとともに学んで行ってほしいと思います。くじけそうになることもあるでしょう。そんなときは周りの人たちの助けを借りることで、人を助ける心も学んでいってほしいと思います。最後になりましたが今回の入校にあたり神奈川地方協力本部厚木募集案内所の並々ならぬご配慮に厚くお礼申し上げます。

(高等工科学校第61期 1教7区隊 木暮貴晴の母)

## 小田原ドライビングスクール第4回感謝祭



警察や消防とともに



記念写真撮影

神奈川地方協力本部小田原地域事務所(所長 林1陸尉)は、4月12日(日)、小田原ドライビングスクール第4回感謝祭を支援した。

この感謝祭は、小田原ドライビングスクールが、地域の皆様との交通安全の集いとして開催し、小田原警察署や小田原消防など働く自動車に係わる車両が集結して地域の方で賑わうイベントである。晴天に恵まれた中、メインステージ正面の警察や消防とも隣接する好条件の場所ので中央輸送業務隊から借用したパジェロを展示した。

迷彩服を試着し、パジェロをバックにして記念撮影するなど、自衛隊ブースは大いに賑わいをみせた。地元のチビッコや高校生の中から将来、自衛官を目指す人達が出ることを願いつつ所員は一所懸命自衛隊の魅力を広報した。

小田原地域事務所は、「今後も、地道に地域に密着した広報によりファンを獲得して、自衛官募集を展開していく」としている。

## 神奈川県防衛協会海上自衛隊部隊研修



神奈川地方協力本部(本部長 高田充1海佐)は、平成27年2月25日(水)、海上自衛隊第2術科学校(田浦基地)において、神奈川県防衛協会の部隊研修を支援した。

参加者は、海上自衛隊創設の地であり、海上自衛隊における専門教育の開始された伝統ある部隊を見学し、多様な任務を遂行するための専門知識や技量「術科」を真摯に学ぶ入校学生たちの姿に触れるとともに、資料室においては、普段、目にするのではない貴重な展示資料について研究員から懇切丁寧な説明を受けた。参加者の口々からは、「海上自衛隊の歴史を改めて学ぶことができ、非常に有意義な時間であった」の声が聞かれた。

神奈川地方協力本部は、「今後も防衛省・自衛隊の諸活動に対する更なる理解を得るために、神奈川県内の各協力団体と連携し、諸支援を実施していく」としている。